

# 「内水ハザードマップ作成の手引き」改定の概要

## 1. 改定の主なポイント

### (1) 公表方法の充実

内水ハザードマップの内容が住民に効果的に理解されるよう、様々な媒体や機会等を活用した公表方法を紹介するとともに、他のハザードマップとの相違点を分かりやすく情報提供するための留意事項などを記載。

### (2) 活用方法の充実

内水ハザードマップの作成及び公表を契機として、内水ハザードマップの作成によって得られる情報を、浸水対策計画の作成やまちづくり、防災訓練等で活用するなど、様々な活用方法を記載。

### (3) 内水ハザードマップ作成等に関する事例の充実及びQ&Aの追加

市町村が実際に内水ハザードマップを作成する際の参考となるよう、内水ハザードマップの作成等の事例を充実するとともに、他のハザードマップと連携して作成する事例についても充実。また、内水ハザードマップの作成に関するQ&Aを記載。

## 2. 公表及び活用の事例

公表の事例：内水と洪水の両方の浸水想定区域を表示した事例〔大阪府大阪市〕



活用の事例：学校教育（小学校の総合学習）での活用事例〔大阪府東大阪市〕

### 概要

- 実施時期：平成18年6月～7月
- 対象者：東大阪市立の6小学校（4年生）
- 企画運営：東大阪市上下水道局水道総務課

### 【小学生への環境学習の様子】



## (参 考)

### 1. 内水、洪水ハザードマップの作成状況

内水ハザードマップの作成：84市町村（H21年2月末現在）  
洪水ハザードマップの作成：887市町村（H20年12月末現在）

### 2. 「内水ハザードマップ作成の手引き検討会」の概要

#### (1) メンバー

(アドバイザー) ※あいうえお順

片田 敏孝 群馬大学大学院工学研究科 社会環境デザイン工学専攻教授  
関根 正人 早稲田大学創造理工学部社会環境工学科教授  
山田 正 中央大学理工学部土木工学科教授

(委員)

小原 浩 東京都下水道局計画調整部計画課基本計画主査  
関 雅夫 千葉市下水道局建設部下水道計画課雨水企画室長  
小野田吉恭 名古屋市上下水道局技術本部計画部下水道計画課主幹(緊急雨水整備計画担当)  
山本 晶 国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター水害研究室主任研究官  
遠藤 淳 国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部下水道研究室研究官  
山本 恵太 国土交通省河川局治水課河川保全室課長補佐  
高橋 伸輔 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課課長補佐  
井上 茂治 国土交通省都市・地域整備局下水道部流域下水道計画調整官

(事務局)

有働 健一郎 国土交通省都市・地域整備局下水道部流域管理官付水害対策係長

#### (2) 検討内容

- ①作成にあたっての基本方針の検討
- ②内水浸水想定手法の検討
- ③洪水ハザードマップとの連携の検討
- ④情報提供・活用のあり方の検討
- ⑤策定の必要性等に関するQ&A、活用事例の充実等

#### (3) 検討スケジュール

平成20年9月中下旬：アドバイザーからの意見等の聴取（1回目）

平成20年10月2日：第1回検討会の開催

- ・内水ハザードマップの作成・防災訓練等の実施状況等について
- ・内水ハザードマップ作成の手引き（案）改定の主な論点について

平成20年10月21日：第2回検討会の開催

- ・内水ハザードマップ作成の手引き（案）の改定（案）について

平成20年11月中旬：アドバイザーからの意見等の聴取（2回目）

平成20年12月1日：「内水ハザードマップ作成の手引き（案）」改定、公表

平成21年2月25日：第3回検討会の開催、アドバイザーからの意見等の聴取（3回目）

- ・情報提供・活用のあり方、事例等の充実について

平成21年3月30日：情報提供・活用のあり方、事例等を追加し公表

### 3. 平成20年12月の手引きの改定概要

#### (1) 地域特性等を踏まえた内水想定手法の追加

従来の浸水シミュレーションによる手法だけでなく、浸水シミュレーションを行うための十分なデータがなくても、地形情報や浸水実績を活用して、地域の特性や浸水の状況に応じて内水浸水想定を行う手法を追加。

#### (2) 洪水ハザードマップとの連携についての解説、事例紹介

洪水ハザードマップと連携して作成する際の留意事項について解説するとともに、内水ハザードマップと洪水ハザードマップを一体的に作成した事例を追加。